

エシカル甲子園2019～私たちが創る持続可能な社会～

教育委員会 学校教育課

事業内容

エシカル消費の推進に積極的に取り組んでいる高校生等が、その取組に関する発表を行い、そのうち特に優れたものについて表彰が行われる「エシカル甲子園」を開催した。

全国70校の参加申込の中から、審査委員会の審査を経て12校の高校生等が、エシカル消費の大切さを全国に向けて広く発信した。

日時	令和元年12月27日
予算	10,000千円
消費者行政強化 交付金活用額	5,000千円
対象	高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援 学校高等部、高等専門学校（3年次まで）
参加人数	350名
宣伝方法	【出場校の募集】 募集要項を郵送、ホームページ掲載、メール送付 【観覧者の募集】 チラシの配布、ポスター掲示、ホームページ掲載等



参加者による記念撮影

構想したきっかけ・経緯

県教委では、持続可能な開発目標（SDGs）に掲げられている、「持続可能な生産消費形態を確保する」社会の形成に向けて行動することができる人材の育成及び、その必要性の発信が重要であると捉え、平成27年度に「エシカル消費」推進プロジェクト研究校を指定するなど、「エシカル消費」の取組を通して「持続可能な社会の実現に向けた消費者力」の育成に取り組んできた。

全国に先駆けて「エシカル消費」を推進してきた徳島県に、全国各地でエシカル消費の推進に取り組む高校生等が集まり、その取組や、メッセージを発信することは、今後の取組の深化とさらなる普及に向け、大変意義があると考え、エシカル甲子園を企画した。

期待される効果

- ・持続可能な社会づくりに挑戦する若者の育成。
- ・高校生等に消費者市民社会の実現に積極的に参画しようとする意識を醸成。
- ・「エシカル消費」の学習を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ・「エシカル消費」の普及・啓発。



高校生等による発表の様子

エシカル甲子園2019～私たちが創る持続可能な社会～

教育委員会 学校教育課

エシカル消費啓発のために工夫した点・今後の課題等

- ・本選出場校及び各ブロック予選2位校の取組を紹介したパネルを作成し、本選開催前から商業施設や県庁で展示することで、エシカル消費の取組を発信した。
- ・本選当日には、エシカル消費に関する講演会を実施し、エシカル消費に関する理解を深めた。

事業の効果・成果

- ・「エシカル消費」には様々なものがあり、身近なところから実践できることを広く発信することができた。
- ・高校生同士の交流を図ることができた。

参加者の反応・感想

- ・他校の取組を知ることができた。同じエシカル消費を学ぶ立場として共に切磋琢磨していきたい。(発表者・高校生)
- ・「未来を変えていきたい」という気持ちが伝わってきた。(来場者・小学生)
- ・取り組んでいっしょるマーケットや活動を是非一度見に行きたいと思う。(来場者・中学生)
- ・若い皆さんの力に学んで、私も家族と共に持続可能な社会を目指して暮らしを見直したい。(来場者・一般)
- ・高校在学中の3年間だけで終わらず、現在それぞれで頑張ったことを糧とし、卒業しても推進できる人になってもらいたい。(来場者・学校関係)
- ・高校生が地域課題にこれだけ真剣に向き合っていることに刺激を受けた。(来場者・学校関係)

事業年間スケジュール

令和元年				
4月	6月	8月	9月	12月
参加校募集				
		● 応募書類提出締切		
			● 予選(書類審査)	
				● 本選出場校決定
				● 本選開催



高校生等による発表の様子



会場でのパネルの展示



開催ポスター・リーフレット